

## 『東村山市公共施設白書』を作成しました

東村山市では、高度経済成長期の急激な人口の増加や社会環境の変化に対応するため、昭和40年代から50年代を中心に多くの公共施設を整備してきました。

しかし、時間の流れと共にこれらの公共施設の老朽化が進み、今後、建物や設備の大規模修繕や建替えが集中的に発生し、市の財政にとって大きな負担となることが懸念されています。公共施設は身近な市民活動の拠点として、長く多くの市民の皆様に関われていますが、少子高齢化による年齢構成の変化や市民ニーズの多様化により、施設に求められる役割も大きく変化してきています。

こうした事情を背景に、市では第4次総合計画及び第4次行財政改革大綱において公共施設再生計画の策定を位置づけ、平成24年度には担当所管として経営政策部に施設再生計画担当を設置し、公共施設の最適化に向けた取組みをスタートしました。

取組みの第一歩として、市の保有する公共施設の現状や課題を把握し、市民や議会、また市職員などと広く情報を共有するため『東村山市公共施設白書』を作成し、このたび公表する運びとなりました。

書名	東村山市公共施設白書
規格	A4 サイズ 206 ページ（表紙を除く）、フルカラー印刷
閲覧・入手の方法・場所	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 市ホームページ（6月21日公開開始予定）<ul style="list-style-type: none"><li>・ PDF ファイル（フルカラー）をダウンロードすることができます。</li></ul></li><li>○ 施設での閲覧（6月21日閲覧開始予定）<ul style="list-style-type: none"><li>・ 各図書館（中央図書館、富士見図書館、萩山図書館、秋津図書館、廻田図書館）及び市役所本庁舎1F情報コーナーにて閲覧することができます。</li></ul></li><li>○ 有償販売（6月21日より販売開始予定）<ul style="list-style-type: none"><li>・ 市役所本庁舎1F情報コーナーにて、白黒印刷版を1部250円でお買い求めいただくことができます。</li></ul></li></ul>

## 白書の内容について

市が保有する公共施設（建築物、いわゆるハコモノ）を対象に、その機能や、利用状況、また維持管理費や人件費などの施設にかかるコスト、将来の修繕や建替えにかかるコスト等、ハードとソフトの両面から施設の現状について、グラフや図表を活用し、見易く、分かりやすくまとめました。

- 第1章 東村山市の概要
- 第2章 東村山市の公共施設
  - ➔ 市が保有する公共施設（ハコモノ）の総延床面積は約 25 万 3,000 m<sup>2</sup>。
- 第3章 大規模修繕及び建替えにかかる将来費用
  - ➔ 今ある公共施設（ハコモノ）をそのまま維持していくために今後必要となる大規模修繕や建替えにかかる費用を試算したところ、今後 30 年間で約 905 億円、1 年あたり約 30 億円。
  - ➔ 今後公共施設（ハコモノ）の大規模修繕や建替えに充てることができる費用は約 20 億 1300 万円/年（過年度の実績より）。毎年度約 10 億円が不足。
- 第4章 市民利用施設の現状
- 第5章 課題のまとめと必要な取組み

## 今後の展開について

白書で明らかになった課題を踏まえ、公共施設再生計画の策定を進めていきます。

- 平成 25 年度は、公共施設白書や公共施設に関する市民アンケート（平成 24 年 9 月～10 月実施）などを基礎資料としながら、今後の公共施設の最適化に向けた基本的な考え方について検討し、年度内に「公共施設再生計画基本方針」としてとりまとめる予定です。
- 公共施設再生計画基本方針の検討にあたっては、市民を交えた「公共施設再生計画検討協議会」（平成 25 年 6 月 28 日に第 1 回開催予定）を立ち上げ、ご意見をいただきながら進めていきます。